

## 平成30年度自己評価及び学校関係者評価書

## 1 本年度の学校評価をふりかえって

秋商キャリア教育をもとに、日々の授業を大切に、ビジネス実践や外部講師などを活用して、社会人基礎力を身に付けさせ、主体的に物事を考えさせる取り組みをしている。

教職員は、一人一人が高い意識を持ち、学校全体として取り組んでいる。今後も商業高校の教育の特色を活かし、秋田県商業教育の中心校としてその役割を果たすべく、保護者アンケートを参考にした自己評価と学校関係者の意見を真摯に受け止め学校の発展に努めていきたい。

## 2 評価結果の概要

分野	評価項目	取り組み状況と成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価の意見
本年度の目標	・キャリア教育構造図の具体的実践と改善	・商業科の資格取得率向上対策のための特別時間割を作成し実施した。 ・校外のマナー向上や「よい行い」の推進を図る。	B	・各コースの特色を生かす高度な資格取得。コースの柱となる資格を設定し、取り組む。 ・成績中間層の学力向上	・高度な資格取得を実現することよりも卒業して、すぐに実務ができる実践力が必要。
教育課程・学習指導	・、基礎学力の定着を図り、学力の向上を目指す ・研修部と連携し、研究授業を推進し、「授業改善」に取り組み「わかる授業」を目指す	・「チャイムで始まる授業」を職員会議等で再確認する。また、進路指導部と連携し、基礎学力向上テスト返却時に解説や、合格点に満たない生徒へ指導を実施する。商業科の資格取得率向上対策のための特別時間割を作成し実施する。 ・研修部との連携を大切にし、授業公開週間では率先して課題に取り組む。	A	・授業の振替を最大限に行うことで自習時間を減らす。 ・研修部と連携し「授業改善」に取り組み、「わかる授業」を目指す。	・商業の特色のある授業を外部に広報できる方法が必要。 ・専門高校生として、基本的な資格を取得して実践力を身につけてほしい。
進路指導	・進路意識の早期確立と学年進行に応じた継続的な進路指導を促進する	・2・3年部間で進路情報交換会を実施するほか、各学年で随時講演等を行う。	B	・進路の手引き説明会や就職支援員による講話、合格体験発表会等で各学年の進路への意識を高める。新入試に向け、1年生の意識を持たせる。	・生徒が希望する各種進路の実現に向けた取り組みを今後とも継続してほしい。
生徒指導	・礼儀・規律・公共心と自己有用感の育成に努めるとともに、問題行動や事故の未然防止を図る。	・関係機関との連絡を密にし、情報提供を図るとともに注意喚起を行っている。学校生活アンケートの実施や校門指導、盗難防止の見回り等、小さなサインを見逃さないための取り組みも行っている。	B	・命に関わる重大な事故や事件または重大な事態となる、いじめ問題も起きることはなかった。今後も生徒指導だよりでの情報提供と街頭、昇降口指導での注意喚起を継続。	・近年挨拶がしっかりしている生徒とそうでない生徒の差が見られる。 ・校外でも秋商の誇りをもって行動してほしい。
保健	・校内の安全・美化に努め、生徒を取り巻く環境を整える	・大清掃以外にも、予定されている行事の前に声かけをして全職員に協力してもらっている。	B	・専門的な知識を持つ方を講師に迎えて生徒に客観的な知識を伝える	・特になし
教育相談	・生徒の健全育成につとめ、心身の諸問題の解決を積極的に支援する	・心の健康教室、薬物乱用防止教室、性教育講座を実施し、心身の健康に関する正しい知識の啓発に努めた。	A	・特別支援の対象となる生徒の指導について、SC からアドバイスを頂き、指導計画のベースを作成する	・特別支援が必要な生徒には専門的な知識を持っている方々から助後をもらい対応してほしい。
特別活動	・特色ある学校行事・部活動の支援 ・全校生と参加による自主的・創造的生徒会活動を支援	・学年部との連携を図り、理解と協力を得ながら進めるため、主任・副主任がコーディネート役にまわる。	A	・トレーニングセンター利用マナーの向上や定期考査に向け活動時間の短縮を行う。	・AKISHOP は更に充実したものにしてほしい。
図書	・情報センターとしての図書館利用を活性化する	・新しいパソコン導入を含め、環境の充実を図っている。 ・国語科の協力で「図書館オリエンテーション」を行った。	A	・本との出会いの場として機能を果たす図書館作りを目指し、広報活動の発信に努める	・特になし
家庭地域	・教育の情報化推進を促し、家庭に対する情報発信や広報活動を活性化する	・各分掌の連絡や広報活動をメール、ホームページで発信することができた	A	・本校中期ビジョンの目標に従い、HPの更新回数を維持して、広報活動を行う。	・近年の広報活動はHPが中心である。更新回数を増やしてほしい。